



全国学生夢応援企画

Campus Life+1 **ファイナル** コンテスト

sponsored by **タウンワーク**

全国の大学・短大・専門学校・高校に通う学生の皆さんから夢を募集してきた「Campus Life+1」。本選では、約16000名の中から選ばれた5人のファイナリストが思い思いの方法で夢を披露しました。

結果発表!

学生たちの**熱い思い** **五人五色の** **夢**が発表された

2016年12月11日(日)、今年で4回目となる「Campus Life+1」のファイナルコンテストが開催されました。昨年の倍となる約16000名の応募の中からファイナリストに選ばれた5名が、ステージ上で様々なプレゼンテーションを披露。ステージ上でダンスを披露する学生、学習ロボットの制作に意欲を見せる学生など、与えられた5分の中で自分の思いをぶつけていました。また、今年はゲスト審査員にお笑い芸人のケンコーコバヤシさんが参加。さらにトークショーでは、後輩の相席スタートが加わり、会場を大いに盛り上げてくれました。



無人島になってしまった父への故郷に対する思いを披露する参加者



レベルの高いプレゼンに審査員たちも胸を熱くしていました



ステージ上で見事なステップを見せた世界一のダンサーを夢見る参加者



ケンコーコバヤシさんと相席スタートによるトークショー。会場は笑い声に包まれました



東北一小さな町を、子どもたちが遊び学べる街にしたい!

東北学院大学 / 本多瀬さん



私は、現在「なないろプロジェクト」というボランティアサークルに所属しています。その活動拠点となっているのが、宮城県七ヶ浜町という街です。この街は、東北一小さな面積の町で先に起きた東日本大震災では甚大な被害を受けた町でもありました。しかし、七ヶ浜町では、おいしい魚やお米が収穫できるなど、豊富な資源があるんです。その資源を使って子どもたちに遊びや学びの場となるテーマパークをつくるのが私の夢です。その思いを持ち始めたとき、このCampus Life+1の存在を知り、応募しました。このイベントに参加して、改めて自分の夢を見つめ直すことができ、また、他の参加者の夢に触れ、とてもいい刺激を受けることができました。これを機に、自分の夢をぜひとも実現させたいです。

ファイナリストたちによる個性豊かなプレゼンテーションが発表されました!



世界一のダンサーになり、世界一のショーを開催したい!



AIを搭載した自習支援用の対話ロボットの開発!



無人島化した故郷に人を集めたい!



スパイスでみんなを元気に!そして日本を健康に



東北一小さな町を、遊び学べる町にしたい!